

きずな

2011年 6月16日

NO 841

赤旗井原出張所

井原市井原町103 (TEL 62-6200)

6月13日、井原市議会6月定例会が開会しました。会期は6月29日までの17日間です。13日の開会日、瀧本市長が議案の提案説明を行いました。その中で、市政の状況等も報告しました。報告の概要は次の通りです。

市政の状況等について

新たな基金の設置について

本市におきましては、今後、普通交付税の合併特例措置が段階的に廃止されるとともに、自主財源の確保も、引き続き、厳しい状況にあるなど、財源の大幅な減少が見込まれるところでございます。

こうした厳しい時代にありましても、公約の6本柱に掲げる事業や、本年度より計画策定に着手いたします第6次総合計画後期基本計画に基づく施策を、力強く着実に推進するため、このたび4つの基金を創設することとし、将来にわたり安定的な財源を確保してまいりたいと考えております。

設置いたします基金は、

- 1つ目「井原市安全・安心推進基金」。市民の生命や財産を守り、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するため
- 2つ目「井原市次世代育成基金」。明日を担う子どもたちが、心身ともに健康な人に育つよう、地域ぐるみで子育てを支援するため
- 3つ目「井原市産業振興基金」。工業をはじめ農林業や商業、観光等の多様な産業の振興を図るため
- 4つ目「井原市健康・生きがい創造基金」。市民の健康づくりや生きがいづくりの充実を図るためであり、本議会に所要の条例案、補正予算案を上程させていただいたところであります。

協働のまちづくりについて

本市では、これまで市民の皆様と私が直接対話する「協働のまちづくり市民推進室」の開催を柱に、様々な事業を展開してきたところであります。

こうした中、本年度から、更なるまちづくりの円滑な推進を図るため「井原市パートナーシップ・プロジェクト事業」を展開していくこととしており、今月6日には、「パートナーシップ推進員」として、市職員26名を任命したところであります。

この推進員を、まちづくりについて話し合う地域での会議等へ出席させていただき、皆様方と一緒に話し合うことによって、信頼関係を構築し、地域住民と行政が一体となったまちづくりを進めてまいりたいと考えております。

また、地域での協働推進体制づくりや、まちづくりリーダーの養成、協働のまちづくり市民推進室の開催などの事業を総合的に実施することにより、分権時代に対応した活力のあるまちづくりをより一層力強く進めてまいりたいと存じます。



健康寿命の延伸に向けた取り組みについて

まず、今月1日から始まりました市の健診についてであります。国民健康保険に加入されている40歳から74歳の方を対象に生活習慣病の予防を目的とした特定健康診査を無料といたしました。

また、乳がん、子宮頸がんの一部無料化を継続実施するとともに、新たに、胃がんと大腸がん検診についても、5歳刻みの節目年齢の方の検診を無料化し、受診促進に向けた取り組みを行っているところであります。

笑って健康元気アップ事業では、仮称ではありますが「笑って健康体操」を昨年度作成いたしました。

「井原市民の歌」にあわせて行う体操で、子どもから高齢者まで幅広い年代の方に無理なく行っていただけの内容となっております。介護予防や心身のリフレッシュなど日常生活の様々な場面で体操を取り入れていただきたいと思います。現在、井原放送で放映するなど、普及啓発を行うとともに、今月末まで名称の募集を行っているところであります。

このほか、従来から実施しております笑いと健康講演会などの事業に食育の要素も取り入れ、「笑顔の食卓パワーアップ事業」として、食に関する楽しい体験や学習会等を実施してまいります。

さらには、要介護状態の原因となる生活機能の低下を、早期発見、早期対応するため、昨年度まで総合健診にあわせて実施しておりました生活機能評価に替え「高齢者いきいき度チェック」を実施しております。

市内に住所を有する65歳以上の方で、要支援・要介護認定者を除く全ての方が対象で、生活機能の低下が見られる人には、機能の維持・向上を目的とした介護予防講座などのお知らせをすることとしております。

2面へつづく

1面よりつづく

こうした、様々な事業の展開により、健康寿命の延伸に向け、市民皆様の健康づくりを支援してまいります。

井原市民病院について

地域医療の中核的病院として、質の高い医療提供や市民から信頼される病院づくりを目指し、医療の確保に全力で臨んでいるところでありますが、この度、新たに診療科として、「麻酔科」を標榜することとし、条例案を提出いたしております。

これにより、より安全で質の高い医療の提供が可能と考えております。

今後も、地域医療の充実に努めてまいりますのでご理解ご協力を賜りたいと存じます。

井原市住宅リフォーム補助金について

先月10日から受付を開始し、今月10日現在で申請件数98件、補助申請額1,490万8,000円、この申請に伴う経済効果は、2億510万1,000円となったところでございます。

引き続き、受け付けを行っておりますので、この制度を有効にご活用いただきたいと思います。

いばら地場産業育成支援事業補助金について

市内の元気のある中小企業を応援するため、先月10日から31日までの間で申請の受け付けを行いました。申請件数は、9件でございまして、今月中に審査を行い決定する予定でございまして。



いばら産業創造センターについて

今月1日から商工観光課内に「いばら産業創造センター」を設置しました。行政の各種支援策、連携先候補の地場企業、大学の研究室などを紹介するなど、市内事業者へ対して積極的な情報提供を行ってまいります。

また、同センター内へ「産業支援コーディネーター」を一名配置し、市内の企業に出向き、情報の収集やニーズの把握に努め、個々の相談を受けるとともに、市内事業所のネットワークづくりに携わることであります。

農林業の振興について

県営「中山間地域総合整備事業」におきましては、平成25年度から実施を目指しており、本年度、生活環境整備事業に係る部分については、市が実施計画の策定を行うこととしております。

また、新たな取り組みといたしまして、農業施設における再生可能エネルギーの導入検討について、国の補助事業であります「小水力等 農業水利施設 利活用促進事業」を活用した調査・概略設計等を行い、自然エネルギーを利用することで、地球温暖化防止と農業用施設の維持管理費低減等の効果について検討する予定としております。

芳井町築瀬地内のさくら団地の状況について

さくら団地は、小田川近くの高台で、豊かな自然に囲まれた良好な自然環境とお求め安い価格で若い世代の方々を中心に人気があります。全体計画では62区画を整備予定であり、これまで第1期、第2期分譲で35区画を販売しております。このたびの第3期分譲では19区画を販売予定で、今月1日から予約の受付を開始しており、既に5区画の申込みを受け付けている状況であります。

ぜひとも、多くの皆様に現地をご覧の上、快適な居住空間を体感していただき、申込みをいただきたいと思います。

本市の平成22年度の会計状況について

一般会計をはじめ、特別、企業のそれぞれの会計が計画に基づく事業を展開したところであり、一部を繰り越したものの、概ね順調に進展し、健全な財政収支で所期の成果が得られたものと考えております。

田中美術館の特別展について

6月25日より、「広重と北斎の東海道五十三次と浮世絵名品展」を開催いたします。

江戸時代を代表する浮世絵師の一人である広重の傑作として有名な浮世絵版画「東海道五十三次」を中心に展示します。加えて、写楽や歌麿、北斎などの名作から、幕末の多彩な作品までを約220点、紹介いたします。

本市で、これだけの浮世絵作品を一堂に展示することは初めてのことでございますので、ぜひこの機会に足をお運びいただければ幸いです。

この「きずな」は森本ふみお議員のブログ (<http://jcp-seibu.sakura.ne.jp/morimoto/>) でも見れます

生活に役立ち勇気と確信のわくしんぶん[赤旗]をお読みください(月額日刊紙2,900円日曜版800円)